

「炎症性腸疾患関連遺伝子解析に関する研究」 について

研究責任者 山本 一彦 チームリーダー
所属 理化学研究所 生命医科学研究センター
自己免疫疾患研究チーム

概要（目的・利用方法を含む）

大腸及び小腸の粘膜に慢性の炎症または潰瘍をひきおこす原因不明の疾患の総称を炎症性腸疾患といいます。炎症性腸疾患はクローン病と潰瘍性大腸炎に分類され、生まれながらの体質（遺伝的素因）や日々の生活で受ける影響（環境因子）により発症することが知られています。この研究はさまざまな遺伝子多型（一般的に認められる遺伝子配列のバリエーション）やエピゲノムによる遺伝子が受ける修飾の違いから、炎症性腸疾患と関係する遺伝的要因を調べようとするものです。

1. 研究の対象となる方

本研究は、下記の方を対象としております。

1999年から2019年に、「3. 外部からの試料・情報の提供」に記載された共同研究機関・研究課題への参加に同意された炎症性腸疾患と診断された方

2. 研究に用いる試料・情報の種類

末梢血細胞より抽出したDNAおよびRNA、血清、手術検体、診療情報

3. 外部からの試料・情報の提供

本研究では、以下の研究課題において、共同研究機関で文書による同意の下、収集された試料・情報が匿名化された上で理研に提供されます。

東京山手メディカルセンター(旧 社会保険中央病院)

研究課題名： 「炎症性腸疾患関連遺伝子解析に関する研究」

「炎症性腸疾患における分子標的薬の効果予測システムの構築」

4. 外部への試料・情報の提供

研究に用いる試料は、本研究用に割り振られた匿名化番号を使って管理しています。共同研究を実施するため、下記機関にゲノムDNAを提供します。

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

研究課題名： 「GWAS 解析のための新規プラットフォームの導入と解析手法の確立」

国立大学法人千葉大学

研究課題名： 「炎症性腸疾患関連遺伝子解析に関する研究」

「炎症性腸疾患における分子標的薬の効果予測システムの構築」

また、ジェノタイピングを委託するため、下記機関にゲノム DNA を提供します。

株式会社理研ジェネシス

5. 研究期間

1999年12月15日～2027年3月31日

6. 研究組織

- 1) 「炎症性腸疾患関連遺伝子解析に関する研究」
理化学研究所 生命医科学研究センター 自己免疫疾患研究チーム
研究代表者：山本 一彦 チームリーダー
- 2) 「炎症性腸疾患関連遺伝子解析に関する研究」
「炎症性腸疾患における分子標的薬の効果予測システムの構築」
東京山手メディカルセンター 炎症性腸疾患センター
研究代表者：深田 雅之 炎症性腸疾患センター長

7. 研究参加の辞退について

試料・情報が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の参加を辞退することができますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

8. お問い合わせ先

<お問い合わせおよび研究への利用を拒否する場合の連絡先>

担当者： 鈴木 亜香里
所属： 理化学研究所 生命医科学研究センター
自己免疫疾患研究チーム副チームリーダー
電話番号： 045-503-9569
住所： 神奈川県横浜市鶴見区末広町 1-7-22